



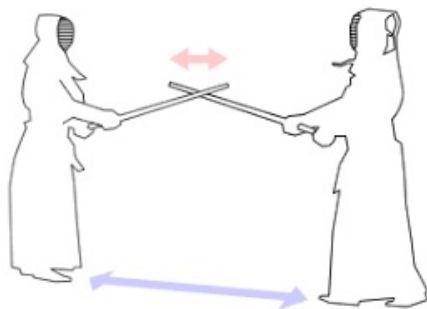
学校だより

和歌山市立四箇郷小学校

2019年度 <<No.59>>

5月号 文責/校長:上田 仁

「みんな! いったん落ち着こう!」
というようなセリフを、バラエティー番組でひな壇芸人が言っていたことを思い出します。怒涛の4月が過ぎ、激動の5月も半月を残し、波乱の6月にならないことを願っている私(わたくし)であります。



4月は、子供もお家の方も担任も、剣道の言

うところの「間合い(剣道で、自分と相手との距離。攻防における重要な間隔)」をとっていたのかもしれませんが、子供もお家の方も担任も、互いに相手が気になって当然ですし、相手を試したり、さぐりを入れることもな

いとも言えません。兎にも角にも、新しく赴任してきた教職員に対しては、子供も家の方も興味・関心が強い傾向は、どこの学校にも起こっている話です(ね(自分も3年前を思い出します))。

5月になると、互いに間合いを詰めて
つばせりあい
鏝迫り合いになることも無きにしも非ず。緊張感も少なくなり子供は自然の姿で、担任は遠慮せず、お家の方は本音で相対するようになるので激動となるわけです。連休がよいクールタウンとなることもありますし、逆にゆっくり考え悩む



時間ができたせいでヒートアップ(注:クールタウンの反対はウォーミングアップですが)することもあるかもしれません。

ここ最近では6月病が増えているとのこと(過去の学校だより参照。No.11です)。4月・5月の怒涛と激動を乗り切って、身も心も疲れているとき、緊張の糸がプツリ切れたとき、職場や学校の新しい環境に慣れてきたときにこそ気をつけなければなりません。もしできるのなら、自分自身を客観的に見るが必要な時期かもしれませんね。

次々やってくる仕事や行事に翻弄されずに、「いったん落ち着こう!」と自分に言いきかせたいのは、私なのかもしれません。